

(3) 東山小学校

学 校 長 宮川 成也
校内研究代表者 渡邊 真菜

1. 研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」 ～自分の考えを表現したいと思える授業づくりを目指して～

2. 主題設定の理由

本校の児童の課題として、表現力の弱さと算数科の学力の低さの2点が挙げられる。発表することに苦手意識をもつ児童が多くいることや、発表はするが単語で終わったり、声が小さく全体に伝わらなかつたりすることも学校全体の課題である。学力の部分では、立式の根拠を説明したり、生活場面と結び付けて考えたりする等、思考・判断・表現の部分で課題が見られる。

このことから、本年度も算数科を研究の中心とし、研究主題を一昨年度までと同様に「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～自分の考えを表現したいと思える授業づくりを目指して～」とした。そして、この研究主題を達成するために、「児童が考えたくなる問いの設定」「児童が自分の考えを表現したいと思える授業づくり」「児童にとって効果的なICTの活用」の3つを研究の柱とした。

1つ目の「児童が考えたくなる問いの設定」では、活動の必然性や目的をもたせる場面を設定することが大切だと考えた。そこで、単元の内容をふまえた上で、日常生活や社会事象の中から、児童が自分事として考えることのできる問いは何かということ意識して授業づくりを行っていった。2つ目の「児童が自分の考えを表現したいと思える授業づくり」では、自分の考えを発表するだけでなく、ノートに自分の考えを書いたり、ペアやグループ単位で自分の考えを他者に伝えたりと、表現の場をどう設定するかを意識して授業づくりを行うようにした。3つ目の「児童にとって効果的なICTの活用」では、教材提示の方法を工夫して児童の気付きを引き出したり、ロイロノートを用いて他者参照し、友達の考えを比較・分類・整理することで考えを深めたりすることができるようにした。上記の3つの研究の柱をもとに、校内での研究を進めていった。

3. 研究の進め方と方法

(1) 運営

- ①研究推進委員会（研究日のある週の月曜日 管理職・研究主任）
- ②研究部会（知の部会・徳体の部会）
- *各部会において企画された取り組みは、研究推進委員会等の承認を得る。
- ③学年部会（毎週木曜日）



(2) 校内研究の持ち方

- ・研究日は毎週水曜日（14：30～16：45）とする。（第1週…定例職員会）
- ・研究日は全教職員による全体研修と各研究部による研究部会等を行う。
- ・研究推進委員会で企画立案し、全体に提案し、共通理解を図り実践していく。

(3) 研究方法

- ・研究授業では西部教育事務所の指導主事を招聘するとともに、低・中・高学年ブロックを中心に教材研究、学習指導案を作成し、指導案検討を行う。
- ・他の公開授業については略案を作成する。

4. 今年度の取り組み

○校内研究授業

月 日	学級	単元名
5月21日	4年1組	算数科「わり算のしかたを考えよう」
6月12日	2年2組	国語科「かんさつしたことをかこう」
6月26日	3年2組	算数科「数をよく見て暗算で計算しよう」
10月23日	3年1組	国語科「話したいな、すきな時間」
10月30日	6年1組	算数科「データの特ちょうを調べてはんだんしよう」
11月13日	6年2組	体育科「体ほぐしの運動」
11月22日	5年1組	体育科「体ほぐしの運動」
1月22日	5年2組	算数科「比べ方を考えよう」
1月29日	1年2組	国語科「小学校のことをしょうかいしよう」



算数科4本、国語科3本、体育科2本の研究授業を実施した。国語科と算数科においては、3つの研究の柱の中から協議の視点を設定して授業に臨んだ。

5. 成果と課題（○成果 ●課題）

- 授業づくり講座を受けたことで、6年生の授業に向かう姿や、自分の考えを表現することに関して変容が見られた。市販テストにおいても、これまでより平均点が高いという結果であった。
- 学習指導要領を確認しながら、各学年での系統性を意識して授業を進めることができた。
- 研究授業の際には、学年・ブロックで授業を見合い、意見を出し合っていくという学校全体で意識を統一した授業づくりに取り組むことができた。
- 算数科だけではなく、国語科の研究授業においても同じ視点で授業に臨んだことで、目指す児童の姿を共通認識することができた。
- 今後も引き続き表現したくなるような授業の工夫を考え、研究を進めていく必要がある。そして、その表現方法の一つとして、ICTをどのように活用していくのかを考えていきたい。
- 学習したことを活用する問題場面を設定することで、生活に結び付いた理解をさらに深めることができるようにしていく。
- 校内研修の内容や実施計画等、見通しをもって研究を進めていくことができるようにする。